



みんな頑張っています!～目標に向かって～

新しいクラスごとに、桜の前での集合写真撮影の様子は、どのクラスも良いスタートが切れたのではないかと感じさせてくれるものでした。また、それぞれの教科担任による授業開きで、それぞれの教科がもっている魅力を確認しながら、学習のルールや成績のつけ方など、丁寧な説明がありました。生徒の皆さんの真剣に聴く姿を見ることができ、これからの学習が楽しみです。学びに背を向けることなく、日々の学習を大切にしていきたいと思います。

4月20日(月)には、前期専門委員任命式を行いました。委員長・副委員長に立候補した皆さんに任命書を手渡す時、自ら進んで責任を背負う覚悟を感じることができました。その様子からも田尻町立中学校は、素晴らしい学校だと確信しています。「誰かに言われたからやる」のではなく、将来をイメージして「今、何をすべきか」を自らに問いかけ、行動に移すことの意味を始業式で話しましたが、田尻中の皆さんには、主体的に自己決定できる力が育まれてきていると感じました。これから皆さんがどんな学校をつくっていかれるのが楽しみです。生徒会をはじめ、各専門委員のみなさんがそれぞれのスローガン達成をめざしたさまざまな活動を展開してくれると期待しています。

また、クラブ活動もスタートしています。週休日には、春季大会が行われています。クラブ活動の様子を見て回り、少しでも試合の応援にも行かせてもらいました。生徒の皆さんは、本当によく頑張っています。試合では心動かされる場面がたくさんありました。喜びの瞬間と悔しさの瞬間が混在していましたが、最後まであきらめずに頑張ったことは間違いありません。また、試合に出ることはなかったけれど、チームを支える皆さんの姿にも感動しました。チームのために献身的に動いてくれた皆さんのことを心から誇りに思います。ありがとう。13日からはクラブ体験がありました。1年生は、グループごとにすべての部活動を体験しました。限られた時間ではありましたが、2,3年生は、体験に来る1年生に笑顔で対応し、自分たちの部活動

をより知ってもらうために説明していました。1年生の皆さん、部活動を3年間続けるのは自分です。よく考えて最終的に自分で決めて入部してください。上級生の皆さんは、1年生が入部してから夏休みまでの期間が全学年そろって活動できる期間であることをわかっているとします。2年生は、1年生を指導しながら、3年生とともに活動する最後の貴重な時間を過ごします。先輩の姿を心に刻みながら、「目標に向かって」できる努力を続けてください。クラブ活動で努力を続ける皆さんのことを心から応援しています。



(校長 水上 健生)

スマートフォン等の利用について

昨今、SNS等を通じたネットトラブルの増加が社会問題となっています。スマートフォンは保護者様のご判断と責任においてお子様に貸与されているものであり、その利用状況の把握やトラブル発生時の対応については、ご家庭が主体となって行われるべきものと考えております。

学校といたしましても、情報モラル教育による啓発を行ってまいりますが、ご存じ頂いている通り、私有物の利用に伴う最終的な法的・道義的責任は保護者様に帰属いたします。今一度、ご家庭内でのルール確認と管理をお願い申し上げます。

以下、具体のお願いです。

- ① SNS等、校外、放課後のやり取りにつきましては、学校側で把握・指導することが物理的に困難です。各ご家庭において、適切なフィルタリングの設定や、ログの確認等の責任ある管理をお願いいたします。
- ② 学校での指導は継続してまいりますが、学校管理下外でのネット上のプライベートなやり取りに起因するトラブルについては、基本的には当事者(保護者様)間での解決をお願いいたします。

【お知らせ】

本校の各種ハラスメント窓口は、教頭・養護教諭となっております。

今後の予定

5/7(木)	【3年生】全国学力学習状況調査(英語 話すこと)
5/13(水)	尿検査 5限後下校
5/14(木)	尿検査 5限後下校 中間テスト一週間前
5/15(金)	園小中合同避難訓練(AM) 授業参観(5限) PTA 総会(6限)
5/21(木)	中間テスト(~22(金))
5/25(月)	(出前授業)グンゼ肌着教室
5/26(火)	【対象者のみ】心臓検診
5/27(水)	【2年生 他】耳鼻科検診
5/28(木)	【2年生 他】眼科検診
6/4(木)	【3年生】歯科検診
6/11(木)	【1・2年生】歯科検診
6/15(月)	【3年生】修学旅行(~17(水))

PTAより会員の皆様へ お知らせ

- ① 今年度もPTA活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。昨年度の規約改正に伴い、今年度の活動は下記の通り変更して実施いたします(4/21 スクリレ配信済み)。
 - 学級委員の選出を廃し、会長・副会長(3名)および若干名の幹事を役員として構成する。
 - 企画・給食・広報の各委員会を廃し、今後は役員を中心に企画等の活動を行う。
 - 会員の皆様には、「登校見守り活動」に注力してご協力いただく(4/28(火) スクリレ配信済みです)。
- ② 5月15日(金)14:30より、PTA総会を予定しております。なお、総会をご欠席される方は下記QRコードより委任状のご提出をお願いいたします(4/21(火)スクリレ配信済み)。

【委任状提出はこちら】



この日は13:30より授業参観もあります。



よろず ^{さいよう}
万の道 よき友にまみゆる最要なるべし

「どんな道に進むにせよ、すばらしい友と出会うことが、何よりも大切である」という意味です。これは室町時代の僧であり歌人でもあった、心敬(しんけい)という人の『ささめごと』という書物にあります。



【心敬(1406-1075)】

- 「万の道」…学問や職業・趣味など、人生のあらゆる分野。
- 「よき友」…良き友・良き師・良き仲間を指す。
- 「まみゆる」…まみえる。お目にかかる「会う」の謙譲語
- 「最要なるべし」…もっとも重要であるべきだ。

どんな分野であっても、良き仲間・良き師との関わりが成長を決定づけるということであり、互いに切磋琢磨し合える存在・自分を高めてくれる相手を持つことが何より重要だということです。

昨年2月、岸和田市出身の書道家・奥 宣憲(おく せんけん)氏の書道展を見学した際、この言葉と出会い、私はとても感銘を受けました。奥氏は、日本の歴史上の人物が残した言葉や文学作品から、数々の名言をご自身の筆で文字に起こします(右上写真)。「日本のこころと美」というテーマで定期的に個展を開催しています。

心敬(しんけい)は、室町時代に和歌山市で生まれました。幼いころに出家し、比叡山で修業を積み、僧としても高いがあります。

また歌人としてもすぐれ、特に連歌師として「ささめごと」「老いのくりごと」など多くの作品を残しています。連歌とは、短歌(5・7・5・7・7)の上の句(5・7・5)と下の句(7・7)を2人または複数でいくつもつなげて詠んでいく形式です。平安時代から続くこの連歌という作法は、当時の日本人が感じた感動や教訓などを定型の字数で表現します。

心敬26歳のとき、室町幕府の6代将軍・足利義教によって連歌会が催され、心敬も招待されています。この日は「梅」というお題(テーマ)にそってなんと、一万句におよぶ連歌が次々に詠まれたとの事です。

現代で言えば、一定の持ち時間を与えられた複数アーティストによるライブイベントといった感じでしょうか。当時の歌人たちが、短い言葉にこそ神経を注いで次々に連歌を生み出していったのでしょうか。

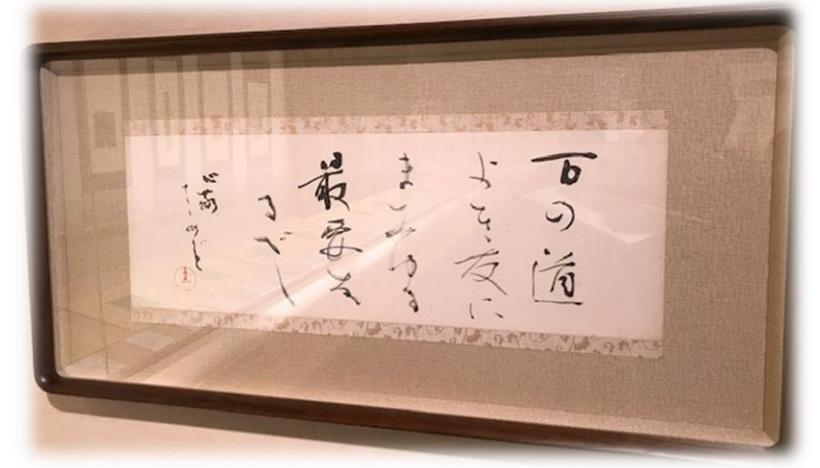
よろず ^{さいよう}
万の道 よき友にまみゆる最要なるべし

改めてこの作品に注目します。心敬が生きた室町時代は、将軍義教が家臣に暗殺され、1467年に応仁の乱が発生するなど、身の危険が多い不安定な時期でした。騒乱を避けて関東に移り住み、のちに和歌山や京都に戻っても戦乱が激しくなる中で、しだいに「消えゆくもの」や「失われていくもの」についての作品が多くなっていきます。自然や人の世のはかなさに思いをはせていたのでしょうか。

それでも彼は一人の僧として、仏教についても学びを深め、人を救う心や人への温かさを大切にすることも説いています。この作品の前後にどのような連歌が詠まれたかはわかりません。しかし、「どのような出来事があっても自分が目標を持って努力し、その中で良い友人や仲間、指導者と出会い、互いに高めあっていくことが大切だということ」を伝えたかったのだと推察します。

くしくも、現在も各地で争いが続き、資源の確保や物流など、その影響は私たちの生活にも出始めています。報道やSNS上に見られる言動には、私たちの心の在り方や人との接し方を問われるものも見受けられます。室町時代にも今と共通した世情があったと考えられます。

私たちにとってすばらしい友の存在は、生きる上での頼りになる存在であり、時に互いを認め合い、時に叱ってでも本気でかかわってくれる存在です。先を見通しにくい不安の多い時代だからこそ、物事を前向きにとらえる。できることから始め、継続していく。その中で、同じく努力を重ねる存在と出会い、刺激し合い、支え合う。時に悩みながらも、仲間とのつながりを土台にして、平和で住みよい世の中を作っていきたいものです。



『万の道 よき友にまみゆる最要なるべし』奥 宣憲さん 書

心敬の歌を作品に起こした奥宣憲さんが、「自分自身が目標に向かって努力を重ねていく過程があつてこそ、よき友にも出会えるのであり、油断や妥協ばかりだとそのような出会いは難しい」と語っていたのが、とても印象に残っています。

新たな学年で始まった学校生活も1ヶ月が経ちました。毎日の学習や放課後の活動を通して、自分にとって「一生大切にできる友」に出会ってほしいと願います。

(教頭 横井武志)

(参考資料:web サイト)

「いせはら文化財サイト」伊勢原市教育委員会
「松岡正剛の千夜千冊 1219夜 ささめごと・ひとりごと」